

チルト式手動車いす



P.R.O. CG

プロ シーザー

取扱説明書



この度は FREEDOM DESIGNS社製 車いすPRO CGをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品を正しくお使いいただきますようお願い
いたします。

この取扱説明書はなくさないよう保管してください。

SHOWA 昭和貿易株式会社
power your mission



Our kids are our passion.™

目 次

1. 安全に使用する為のご注意	P. 4
2. 各部名称	P. 9
3. 仕様	P. 10
4. PRO CGの組み立て方・折りたたみ方	P. 11
5. 各部の取り扱い	
－1. レッグサポート(ラッチタイプ)	P. 12
－2. レッグサポート(ポップアップタイプ)	P. 13
－3. 跳ね上げ式フットサポート	P. 14
－4. 角度調整式フットボード	P. 15
－5. 後輪タイヤのはずし方	P. 16
－6. アームサポート(キャンチレバータイプ)	P. 16
－7. アームサポート(T-アームタイプ)	P. 16
－8. アームサポート(デュアルポストタイプ)	P. 17
－9. キャスター	P. 17
－10. 押すブレーキ・引くブレーキ	P. 17
－11. 背折れ機構部品	P. 18
－12. チルト操作の仕方(フットペダル式)	P. 18
－13. チルト操作の仕方(ハンドレバー式)	P. 19
－14. アンチチッパーの跳ね上げ方	P. 19
－15. ドラムブレーキケーブルの調整	P. 20
－16. 座奥長・座幅長、重心位置の調整	P. 20
－17. アームサポートの高さ調整	P. 21
－18. キャスター交換	P. 21
－19. 前輪キャスターの高さ調整	P. 22
－20. 後輪タイヤの交換	P. 22
－21. 車軸位置調整と座高調整について	P. 23
－22. スイングアウェイアンチチッパーの高さ調整	P. 23
6. メンテナンス・廃棄方法	P. 24
7. 保証書	P. 25

P.R.O. CG

1. 安全に使用する為のご注意

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。

誤った使用をされますと事故や破損につながる恐れがあります。

各部の調節はこの取扱説明書に従って行ってください。

PRO CGはヨーロッパの安全基準であるCEマークを取得しています。

なお、フィッティング時や修理される際は、FREEDOM DESIGNS社の純正パーツをご使用ください。

- PRO CGの耐荷重は110kgです。積載物も含め、これを超えてのご使用はお控えください。
- 転倒や故障の恐れがありますので、負荷をかけすぎたり、無理な走行はお控えください。
- 転倒事故を避けるため、移乗する際には、介助者がサポートするようにしてください。
- PRO CGをご使用される環境をよく把握し、どこが危険な場所か確認をし、避けるようにしてください。
- ご使用の前に、車輪や各部がスムーズに機能することを必ず確認してください。
- 異音や振動などがある場合、タイヤ空気圧の低下やボルトのゆるみなどの可能性があります。
- 故障箇所がわからない時や修理される時は、ご購入された販売店に直ちにご相談ください。
- 両方の車輪がしっかりとロックされていることをご確認ください。
- PROを調整し、仕様変更する際は、ご購入された販売店にご相談ください。
- 誤った調整や、純正でないパーツを使用された場合、保証の対象から外れることがあります。
- むかるみやすべりやすい場所でご使用される際は、十分にご注意ください。
- PRO CGのパイプやパーツは、完全防水にはなっていません。水に触れたり、過度に湿気の強い場所では、本体の腐食や錆に繋がり、故障の原因となる恐れがあります。
 - ・浴室やプールなどでのご使用はお控えください。
 - ・湿気の強い場所でのご使用はお控えください。
 - ・PRO CGが濡れてしまった場合は直ちに乾燥させてください。
- PRO CGは基本的に、コンクリートやアスファルト、室内フロアなど、安定した場所での使用を目的とし設計されています。砂地やぬかるみ、でこぼこ道での使用は故障に繋がりますのでお控えください。
- 道路交通法において、車いすは歩行者扱いとなっております。自動車など周囲に注意してご使用ください。
- 車いすの低床座面上では、ドライバーが目視できないことがあります。横断する時など十分に注意してご使用ください。安全が確認できてから横断してください。
- 夜間や暗い場所でご使用される際は、PRO CG本体や衣服に反射テープを張られることをお勧めします。
- 車載時固定用フックを取り付けていない場合、絶対に自動車内でPRO CGに乗らないようにしてください。必ず自動車のシートやカーシートなどに移乗してください。
- 介助される方は医療従事者のアドバイスのもと、最適な使用方法を検討したうえでご使用ください。
 - ・PRO CGを操作される際は、乗っている方に、どんな操作をするか説明をして行ってください。乗っている方を安心させ、事故の危険性を減らすことができます。
 - ・PRO CGのチルト操作をされる際、乗っている方は背もたれに体重をかけるようにしてください。

- 車いすの調整やオプションなどによって、重心や安定性に影響を及ぼすことがあります。
 - ・後輪の車軸位置がもっとも重心に影響を及ぼします。後輪を本体の前方に設定するほど、後方転倒しやすくなりますので、ご注意ください。
 - ・全幅、前座高、チルト角、背角、姿勢、積載物なども重心に影響を及ぼします。
- 事故の恐れを最小限に抑えるために次のようにしてください。
 - ・医療従事者のアドバイスのもと、最適な後輪の車軸位置や前輪キャスターの位置を決定してください。
 - ・設定を変更する際は、ご購入された販売店にご相談のうえで、最適な重心となるよう調整してください。
 - ・重心のバランスが悪く、転倒の恐れがある場合は、介助者をつけてください。
 - ・転倒防止装置をご使用ください。
 - ・移乗する際は、必ず各ブレーキをロックしてください。
前輪キャスターを前方に回転させることでより安定感が増します。
 - ・ウィリー走行は転倒を招くもっとも危険な走行です。絶対にウィリー走行はしないようにしてください。
- 路面のくぼみや亀裂などが事故や故障の原因となる恐れがあります。
 - ・車いすの前方に十分注意して走行してください。
 - ・ご使用される環境が平面で安定していることを十分に確認してください。
 - ・部屋の敷居や出入り口の段差は、スロープなどで解消するようにしてください。
 - ・可能であれば、乗っている方が重心を移動することで、車いすの安定性を高めるようにしてください。
段差を乗り越えたり、上り坂のときは、上体を前方に倒すことで、重心を保つことができます。
段差を降りたり、下り坂のときは、上体を後方にあずけることで、重心を保つことができます。
- PRO CGIはバック走行を目的として設計されていないため、転倒の危険性が高くなります。
バック走行される際は、ゆっくり慎重に進み、障害物がないかどうか注意しながら走行してください。
- スロープや坂道では重心にずれが生じ、事故や転倒の原因となる恐れがあります。
 - ・斜度10%（おおよそ6°）以上のスロープは使用しないでください。
 - ・できる限りまっすぐのぼりおりしてください。
 - ・傾斜の途中で曲がったり、方向転換したりしないでください。
 - ・常にスロープの真ん中を通るよう心掛けてください。また、スロープの幅は十分に広いものをお使いください。
 - ・傾斜の途中で止まったり、ブレーキをロックしたりしないようにしてください。車いすの制御がしにくくなる恐れがあります。
 - ・湿っていたり、すべりやすい路面には十分に注意してください。
 - ・スロープをくだる際に段差が生じてしまう場合、2cmほどの段差でも前輪キャスターをとられ、前方転倒する可能性がありますので、十分に注意してください。
- 事故の恐れを最小限に抑えるために次のようにしてください。
 - ・介助者がのぼりの傾斜を押す場合には、背もたれ部分に体を押し付け支持するようにしてください。
重心を安定させることができます。
 - ・介助者がぐだりの傾斜を押す場合には、ハンドグリップを強く握りゆっくりと操作してください。
スピードがあがりすぎると制御がしにくくなってしまいます。
 - ・安全にご使用いただくため、建築基準や道路交通法などにのっとった使用環境でご使用ください。

P.R.O. CG

- 一人での移乗は危険性を伴い、バランス感覚と敏捷性が必要となります。以下の手順をご参照ください。
 - ・どのような体勢で移乗するのが良いか、医療従事者のアドバイスを受けてください。
 - ・移乗の際は、必ず後輪のブレーキをロックしてください。また、空気タイヤをご使用の場合は適切な空気圧を保つようにしてください。空気圧の低下によって、ブレーキのかかりが甘くなってしまう可能性があります。
 - ・PRO CGから他の場所に移乗する際は、できる限り移乗先に近づいて行ってください。
トランスファーボードを使用すると、より移乗しやすくなります。
 - ・前輪キャスターを前方に回転させることでより安定感が増します。
 - ・フットレストやアームサポートなど、移乗の際に干渉するものは可能であれば外してください。
- 段差ののぼりおりは、事故や転倒の原因となる恐れがあります。
 - ・段差ののぼりおりでは無理をせず、危ないと感じたら手伝ってもらうようにしてください。
 - ・介助者なしに10cm以上の段差をのぼりおりしないでください。また、段差にさしかかる際は、まっすぐのぼりおりするようにしてください。バランスを崩して転倒する恐れがあります。
 - ・介助者なしに階段ののぼりおりすることは、転倒の恐れがありますのでお控えください。また、介助者がついていてもエスカレーターでのご使用はお控えください。
- 介助者の方は以下の操作をご参照ください。
 - ・段差をくだる際は、PRO CGをバック方向で操作されるとくんだりやすくなります。
PRO CG本体を後方から押して段差に近づき、PRO CGごと向きを反転させます。
肩越しに注意しながらバック操作し、ゆっくりと後輪を下の段にのせます。
そのまま少しウィリー状態にし、バランスを取りながらゆっくり後退します。
最後にPRO CGごと前方に反転し、ゆっくりと前輪キャスターを着地させます。
 - ・段差をのぼる際は、少しウィリー状態にするととのぼりやすくなります。
PRO CG本体を後方から押して段差に近づき、ゆっくりとウィリーさせます。
この時、前輪キャスターが段差を乗り越えられる高さまでウィリーさせてください。
そのままゆっくりと前進すると前輪キャスターが段差を通り過ぎ、後輪が段差に接触します。
前輪キャスターを上段にゆっくりと着地させ、後輪を転がしながら持ち上げ段差を乗り越えます。
 - ・階段をのぼる際は、2人の介助者でバック方向で向かうとのぼりやすくなります。
PRO CGごと反転し、階段に背を向けた状態になります。
介助者の1人がPRO CGの後方に立ち、ゆっくりとウィリー状態にします。
もう1人の介助者はPRO CGの前方に立ち、ウィリーした前輪キャスター側のフレームを持ちます。
(この時、フレームは固定されている部分をお持ちください。)
2人で息を合わせながら階段をのぼり、ゆっくりと後輪から着地させてください。
 - ・階段をくだる際は、2人の介助者で前進方向で向かうとくんだりやすくなります。
PRO CGごと階段に正面から近づきます。
介助者の1人がPRO CGの後方に立ち、ゆっくりとウィリー状態にします。
そのまま前進し、後輪を階段の最上段に近づけます。
もう1人の介助者は上から3段目くらい(PRO CGの前輪キャスターの近く)に立ち、ウィリーした前輪キャスター側のフレームを持ちます。
(この時、フレームは固定されている部分をお持ちください。)
ゆっくりと後輪を転がしながら一段ずつ段差をおり、最下段でゆっくりと前輪キャスターを着地させてください。

P.R.O. CG

- チルト操作をする際は、PRO CGが水平面上にあることを確認して、ハンドルグリップを両手で持ちながら行ってください。
- メンテナンスマニュアルにしたがって点検を行ってください。
 - ・PRO CGにもし何か問題があった場合は、ご使用の前に必ず修理・点検を行ってください。
 - ・一年に一回はご購入された販売店で安全点検を行ってください。
- 転倒防止装置について
 - ・たいていの場合、転倒防止装置をつけることで後方転倒しにくくなります。
 - ・基本的には常時取り付けておくことをお勧めします。
 - ・転倒防止装置を下向きにつけ機能させる際は、地面から4～5cmに設定してください。
- アームレストについて
 - ・着脱式アームレスト、跳ね上げ式アームレストともに、PRO CGの重量を支えるようには設計されていません。決してアームレストをつかんでNXT本体を持ち上げたりしないようにしてください。事故や故障の原因となる可能性があります。
 - ・持ち上げる際は、取り外しのきかないフレーム部分をお持ちください。
- ボルトナットについて
 - ・PRO CGに使用されているボルトナットはとても強度の高いものを使用しています。純正以外のものを使用すると、事故や故障につながる可能性がありますのでお控えください。
- フットサポートについて
 - ・フットプレートと地面のクリアランスは最低でも6.5cm以上とって設定してください。もしこれより低い場合、石や段差などに引っ掛かり、転倒の恐れがあります。
 - ・移乗の際、フットプレートに荷重をかけないようにしてください。転倒の恐れがあります。
 - ・フットサポートはPRO CGの重量を支えるようには設計されていません。決してフットサポートをつかんでPRO CG本体を持ち上げたりしないようにしてください。事故や故障の原因となる可能性があります。
 - ・持ち上げる際は、取り外しのきかないフレーム部分をお持ちください。
- 後輪空気タイヤについて
 - ・後輪空気タイヤは、適正な空気圧を保つことにより、寿命が延び、操作性も高くなります。
 - ・タイヤの側面に記載されている適正な空気圧に保たれていることを確認してください。また、この空気圧が保たれていない場合の使用はお控えください。
 - ・空気圧が低い場合、ブレーキがきかなくなったり、操作制御ができなくなることがあります。
 - ・空気圧が高い場合、バーストしてしまう可能性があります。
- ポジショニングベルトについて
 - ・ポジショニングベルトは姿勢保持の目的のみにご使用ください。誤った使用をされると、事故や怪我の原因となる恐れがあります。

P.R.O. CG

- プッシュハンドルについて
 - ・介助者の方はPRO CGを操作される際、プッシュハンドルをご使用ください。転倒の可能性を最小限に抑えることができます。
 - ・プッシュハンドルのグリップがずれたり外れたりしないことをよく確認してください。
 - ・ストローラーハンドルやハンドルエクステンション部を持ってPRO CG本体を持ち上げようとししないでください。
- クイックリリースアックスルについて
 - ・PRO CGをご使用の際は、左右後輪のクイックリリースアックスルがロックされていることを確認してください。ロックされていないと後輪が外れ、転倒の恐れがあります。
 - ・クイックリリースアックスルのロックは左右のボタンで確認してください。
- 後輪について
 - ・後輪の設定により、PRO CGの重心が変わります。
 - ・後輪を前方に設定すると、後方転倒しやすくなります。
 - ・医療従事者のアドバイスにしたがって、最適な後輪の位置を決めてください。
 - ・後輪の調整を終えた後、押すブレーキ、引くブレーキの位置を調節してください。適切な位置でない場合、ブレーキがうまく機能しない場合があります。ロックをかけたとき、押すブレーキ、引くブレーキのアームが6mm以上食い込むように設定してください。
- 押すブレーキ、引くブレーキについて
 - ・押すブレーキ、引くブレーキはPRO CGの走行スピードを調整するよう設計されたものではありません。PRO CG本体を停止、固定する目的にのみご使用ください。
 - ・移乗をされる際は、必ず左右のブレーキがロックされていることをご確認ください。
 - ・空気圧が低下している場合、ブレーキ機構が十分に機能しない場合があります。適正な空気圧を保つよう心掛けてください。
- シーティングシステム、座位保持装置について
 - ・PRO CGに載せるシーティングシステム、座位保持装置によって、本体の重心は異なります。
 - ・シーティングシステム、座位保持装置を調整する際は、ご購入された販売店にご相談ください。
- PRO CGの出荷状態について
 - ・PRO CGは下図のような状態でお手元に届きます。



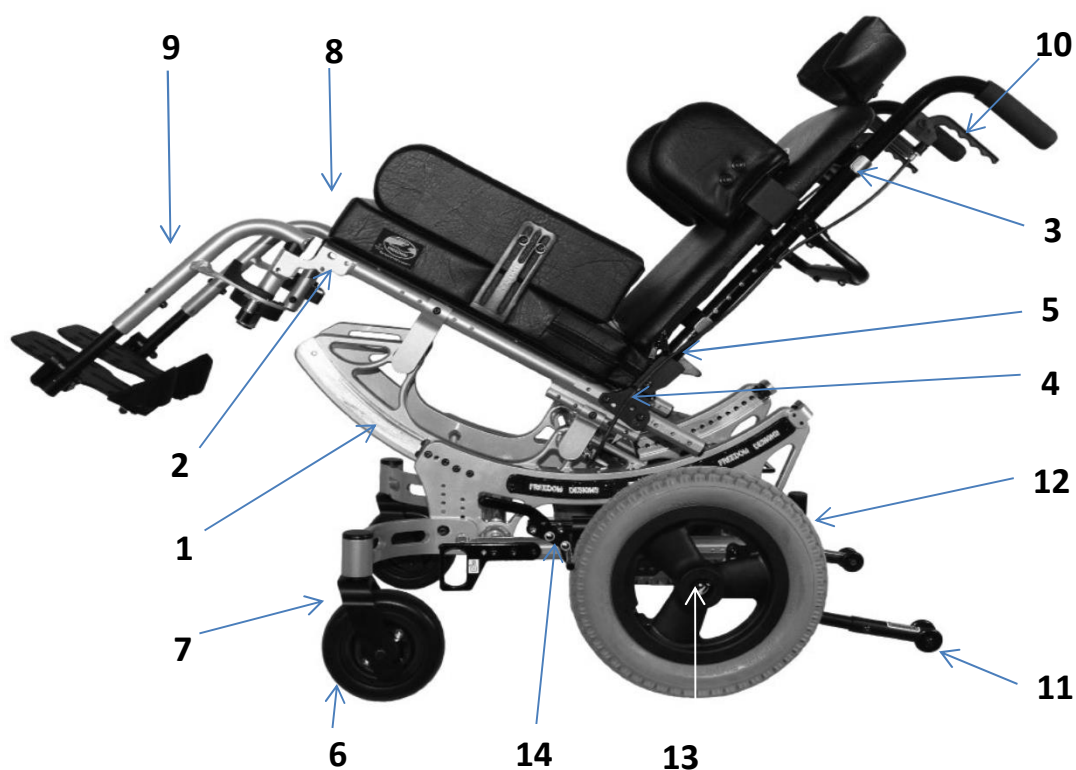
- ・開封される際、箱や本体にキズやへこみがないことを確認してください。

※ アームレストやタイヤ、背フレームは選択式ですので、形状の異なる場合がございます。

2. 各部名称

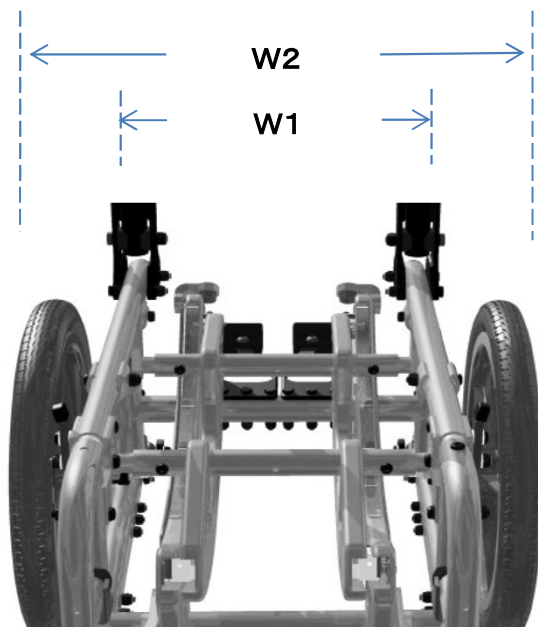
下図は代表的な仕様の一例です。

選択されるオプションによって違いがありますので、その場合の詳細はご購入された販売店にご確認ください。

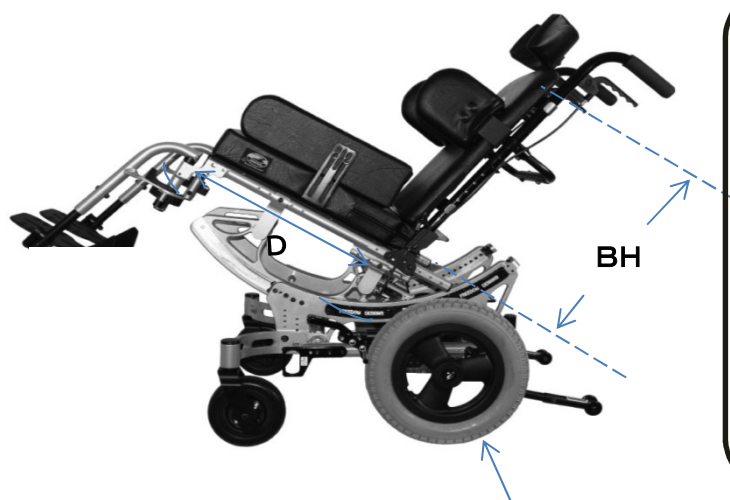


- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. ベースフレーム | 8. 座シート |
| 2. シートフレーム | 9. フットサポート |
| 3. 背フレーム | 10. チルトレバー |
| 4. 背フレームピボットプレート | 11. 転倒防止装置(ティップバー付き) |
| 5. 背フレームトリガーメカニズム | 12. 後輪タイヤ |
| 6. 前輪キャスター | 13. クイックリリースアクスル |
| 7. キャスターフォーク | 14. 後輪ブレーキ |

3. 仕様



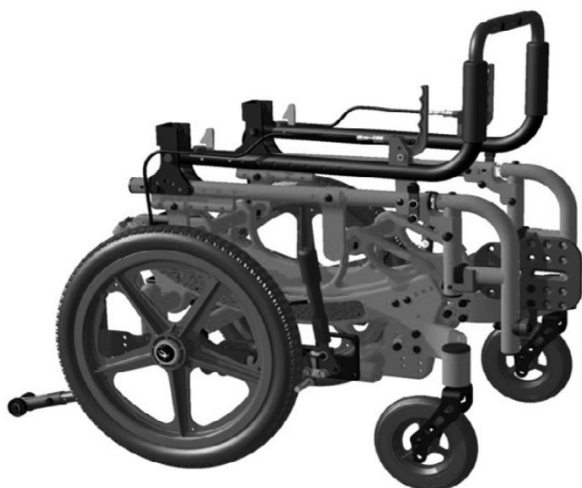
前輪キャスター



後輪タイヤ

・座幅(W1)	30cm～51cm
・座奥(D)	30cm～55cm
・全幅(W2)	座幅+19cm
・前座高(H)	33～48cm
・背高(BH)	51、58、66cm
・背座間角度	80°～120°
・チルト角度	0°～50°
・前輪キャスター	3"～7"
・後輪タイヤ	12"～24"
・耐荷重	110kg
・重量	17kg～
・フレームカラー	21色

4. PRO CGの組み立て方・折りたたみ方

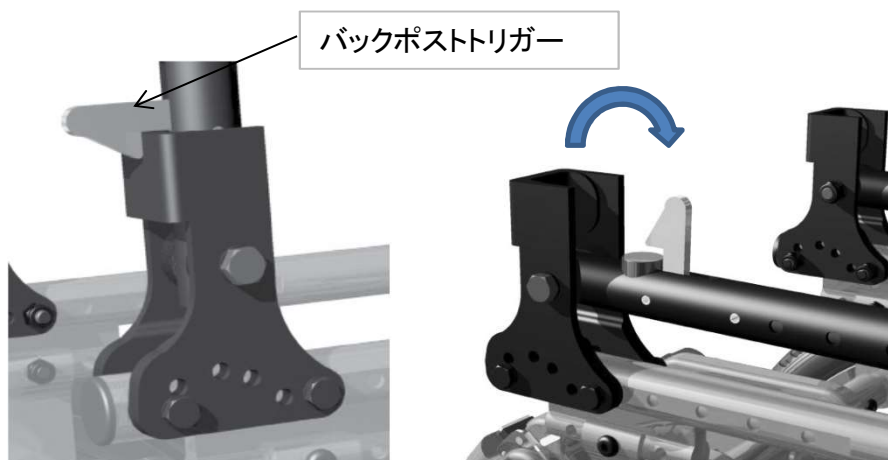


PRO CG折りたたみ部分は、背フレーム部のみです。
本体フレームの折りたたみはできません。
後輪は、取り外すことができます。

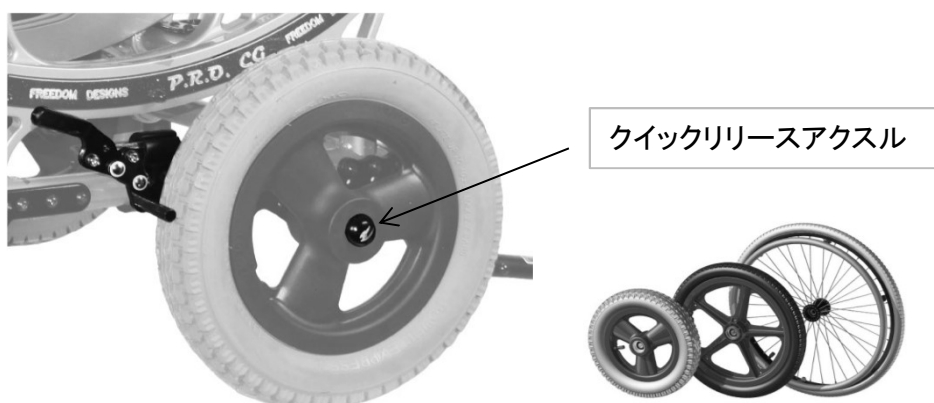
PRO CGを組み立てたり、折りたたむ際は必ず
ブレーキ機構を有効にし、後輪タイヤが回らないよう
にしてください。

ー1. 組立て方・折りたたみ方

バックポストリガーを上方向へ
持ち上げ、ロックを解除し、背フ
レームを前方へ倒してください。
組立ては、背フレームを起こす
とバックポストリガーがロックさ
れ固定されます。



後輪のクイックリリースアックスル
のヘッド箇所を押すとロックが解
除され、その状態でアックスル引
き抜く事で、後輪を外すことがで
きます。
装着はアックスルを差すと自動で
ロックされ固定されます。



5. 各部の取り扱い

ー1. レッグサポート(ラッチタイプ)

スイングアウトする際は、矢印に示すリリースレ



レッグサポートを外側にスイングアウトすると、より
移乗しやすくなります。



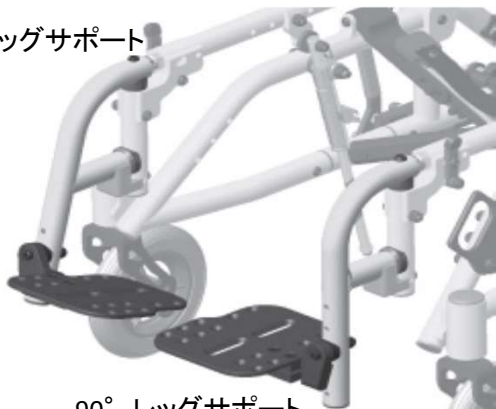
レッグサポートを取り外す際は、スイングアウトし
た状態で上方に引き抜いてください。



レッグサポートを取り付ける際は、座図のような角度
で取り付け部に差し込み、ラッチ機構が固定されるま
で内側に回転させてください。



75° レッグサポート



90° レッグサポート



ー2. レッグサポート(ポップアップタイプ)

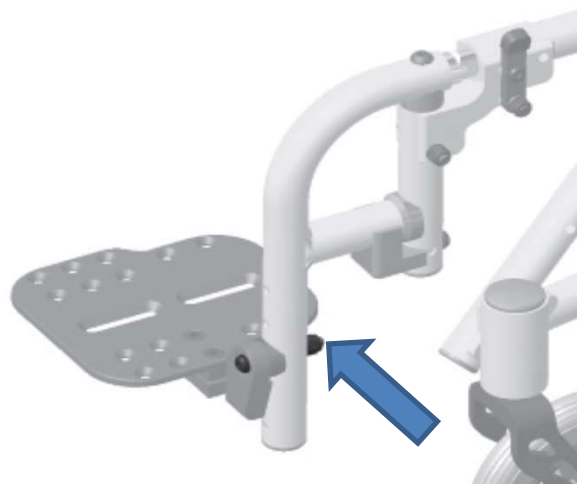
オプションの選択によって本体フレームの取付け箇所
の構造が変わります。

※ 左図は75° レッグサポートと90° レッグサポー
トを示す図です。

スイングアウトする際は、矢印のレバーを後方に引
いてください。
ロックが解除され、レッグサポートが跳ね上がります。
レッグサポートを外側にスイングアウトすると、より移
乗しやすくなります。

レッグサポートを取り外す際は、ロックが解除された
状態で上方(矢印の方向)に引き抜いてください。

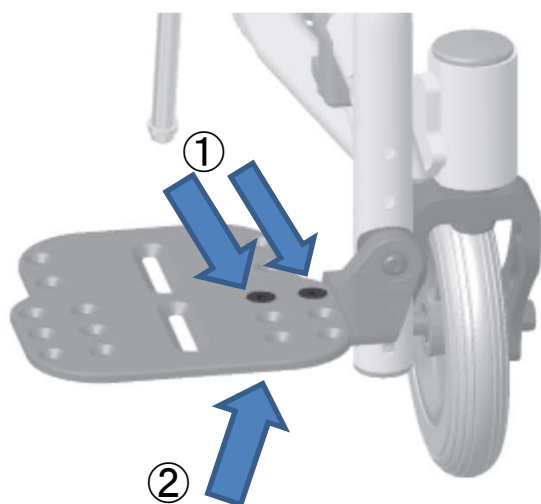
レッグサポートを取り付ける際は、図のような角度で
取り付け部に差し込み、下方(矢印の方向)に押し込
んでください。
ロックされるとカチッと音がなります。



－3. 跳ね上げ式フットサポート

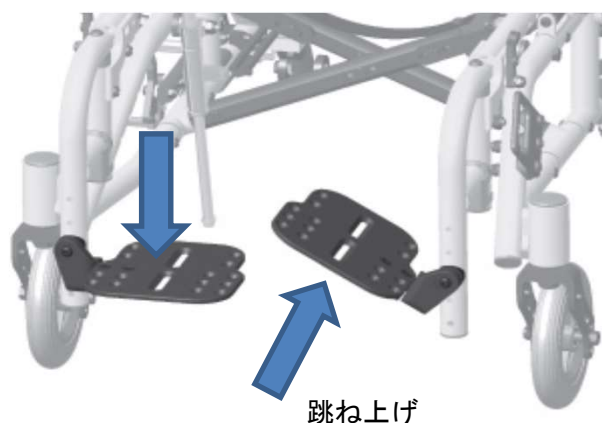
オプションで跳ね上げ式フットサポートを選択された場合、左の形状の跳ね上げができる構造のフットプレートになります。

フットサポートの高さを調節する際は、左図のボルトナットを外し、調節したい高さのボルトホールに差し込みしっかりとボルトナットを締めてください。



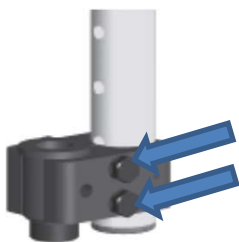
① フットサポートの前後調整をする際は、固定している2本のボルトを外し、調節したい前後位置のボルトホールに合わせ、ボルトをしっかりと締め直してください。

② フットサポートの角度を調整する際は、角度固定をしている左図②（フットサポートの裏側）のボルトを緩め、フットサポートを調整したい角度に合わせボルトをしっかりと締め直してください。

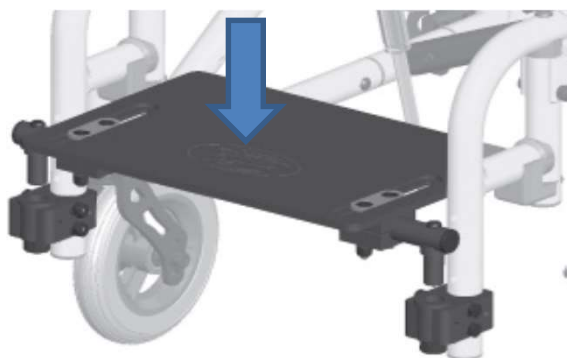


跳ね上げ式フットサポートは簡単にプレートの上げ下げができます。

－4. 角度調整式フットボード



フットボードを取り付ける前に、フットボード取付金具をレッグサポートに取り付けてください。
ご希望の高さに調整し、2本のボルトをしっかりと締

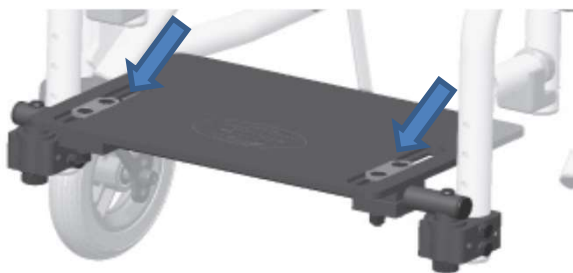


フットボードを取り付ける際は、左図のように取付金具との位置を合わせ垂直におろしてください。

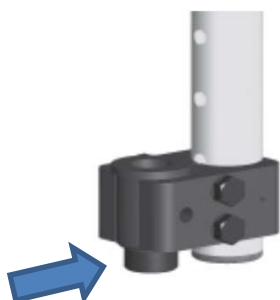


フットボードを取付金具にはめた後、左図の矢印部分にあるノブを両方ともしっかりと締めてください。

移乗の際など、フットボードを取り外す際はノブを緩め、フットボードをまっすぐ引き抜いてください。



フットボードの角度や前後位置を調整する際は、六角レンチで左図の矢印のボルト4本を緩めてください。
ご希望の角度、前後位置に調整し、ボルトを締めてください。



左図に示すフットボードの一番低い箇所は、地面から少なくとも7cmは確保するようにしてください。



また、すべてのボルトナットをしっかりと締め

ー5. 後輪タイヤのはずし方



PRO CGの後輪タイヤはボタンを押すことで取り外しができる、クイックリリースアクスルがついています。このアクスルによって、持ち運びの際や、収納される際に、簡単にコンパクトにすることができます。

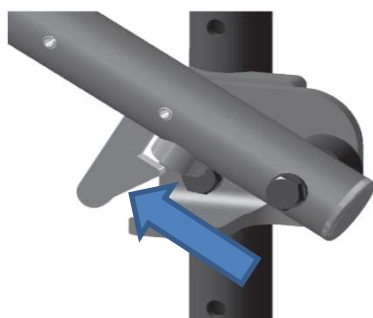
- ① 後輪タイヤのブレーキを解除してください。
- ② 片手で本体フレームをつかみ、取り外したい後輪タイヤを浮かせてください。
- ③ もう片方の手で矢印のクイックリリースボタンを押してください。
- ④ クイックリリースボタンを押した状態でタイヤを引くと、後輪タイヤがはずせます。

ー6. アームサポート(キャンチレバータイプ)



PRO CGのキャンチレバーアームサポートは跳ね上げ式でロック機構付きのものとロック機構無しのものがあります。

※ 取り外し機能はついておりません。



○ ロック機構付きアームサポートの跳ね上げ方

ロッキングトリガーを矢印の方向に押してロックを解除し、アームサポートを跳ね上げてください。

ー7. アームサポート(T-アームタイプ)



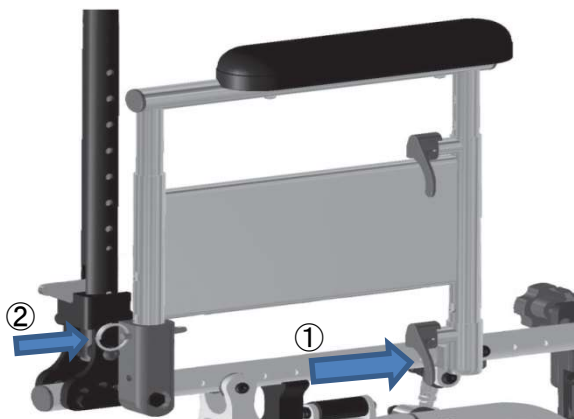
PRO CGのT-アームサポートは取り外し機能がついております。

矢印のレバーを押しながら、アームサポートを引き抜いてください。

ー8. アームサポート(デュアルポストタイプ)

PRO CGのデュアルポストアームサポートは跳ね上げ、脱着機能がついております。

- ① アームサポート跳ね上げの際は、①のレバーを押して、アームサポートを跳ね上げてください。
- ② アームサポート脱着の際は、②のピンを引き抜いて、アームサポートを取り外してください。



ー9. キャスター

PRO CGには3"、4"、5"、7"の5種類のキャスターがあり、ご希望のサイズをご選択ください。

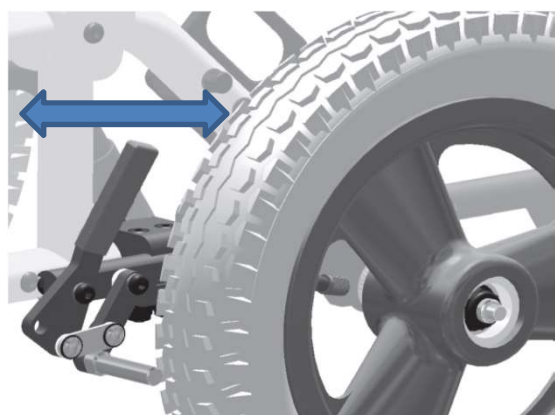


ー10. 押すブレーキ・引くブレーキ

PRO CGは押すブレーキ、引くブレーキのどちらかをお取り付けすることができます。

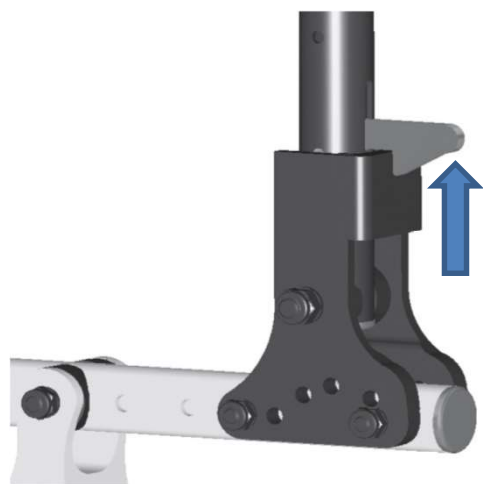
どちらかお好みの方をご選択ください。

また、使用中に押すブレーキ、引くブレーキを交換することもできますので、ご希望の際はご購入された販売店までご相談ください。



移乗する際や車いすを停めておく際は、必ずこのブレーキを機能させてください。

また、このブレーキは車いすの走行スピードを調節するものではありません。走行時は後



－11. 背折れ機構部品

PRO CGには背折れ機構部品が標準装備されています。

バックサポートを倒す際は、矢印のトリガーを上引き、ロックを解除しながらバックサポートを前方に押し倒してください。

バックサポートを起こす際は、バックサポートを後方に引き上げ、トリガーがロックされることを確認してください。



－12. チルト操作の仕方(フットペダル式)

PRO CGのチルト操作でフットペダル式を選択された場合は以下の手順に従ってください。

チルト操作をする前に、必ず後輪タイヤにブレーキをかけて行ってください。

チルト操作をする際は、左右のハンドルグリップを両手でしっかり握ってください。

ハンドルグリップで車いす上部を支えながら、フットペダルを下方に踏んでください。

ロックが解除され、チルト角を変えることができます。

ご希望の角度まで倒し(起こし)、フットペダルから足を放してください。



フットペダル



チルト操作をする際は、乗られている方に必ず声をかけてから行ってください。

－13. チルト操作の仕方(ハンドレバー式)

PRO CGのチルト操作でハンドレバー式を選択された場合は以下の手順に従ってください。

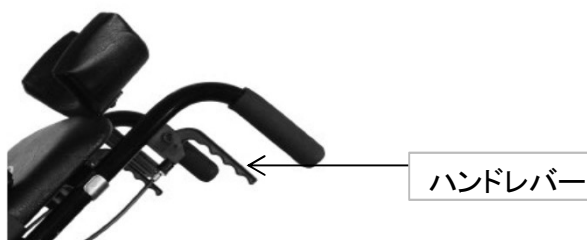
チルト操作をする前に、必ず後輪タイヤにブレーキをかけて行ってください。

チルト操作をする際は、左右のハンドルグリップを両手でしっかり握ってください。

ハンドルグリップでNXT上部を支えながら、ハンドレバーを握ってください。

ロックが解除され、チルト角を変えることができます。

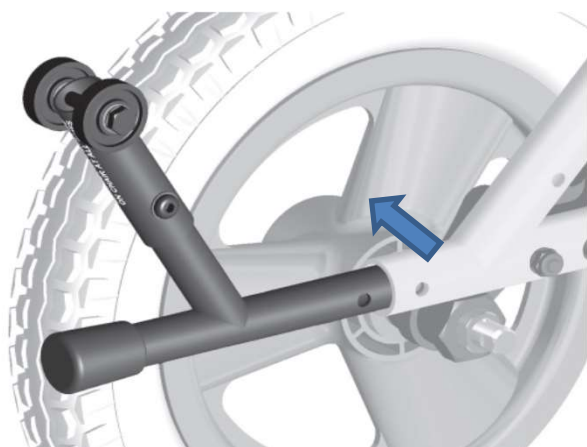
ご希望の角度まで倒し(起こし)、ハンドレバーを放してください。



－14. アンチチッパーの跳ね上げ方

PRO CGのアンチチッパーは跳ね上げ機能がついています。

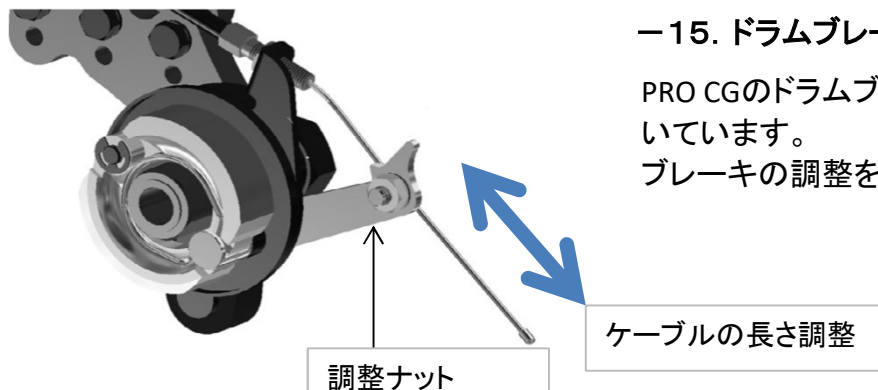
アンチチッパーを跳ね上げる際は、矢印のプッシュボタンを押しながら、アンチチッパーを回転させてください。上向き、下向きどちらの場合でも、ロック機構がついておりますので、カチッと音になる位置で固定してください。



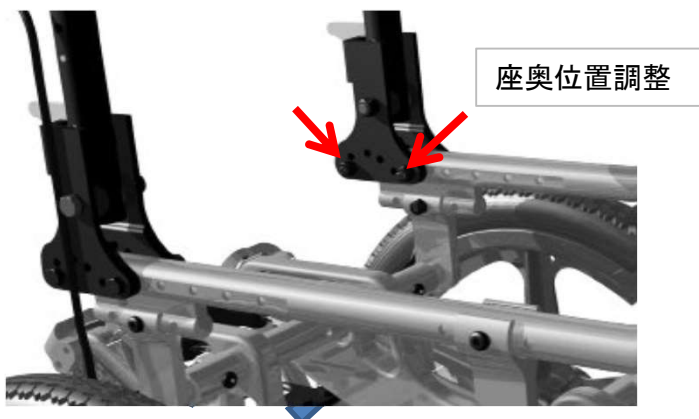
ー15. ドラムブレーキケーブルの調整

PRO CGのドラムブレーキケーブルには調整機能がついています。

ブレーキの調整をご希望の際は、ご購入された販売



ー16. 座奥長、座幅長、重心位置の調整

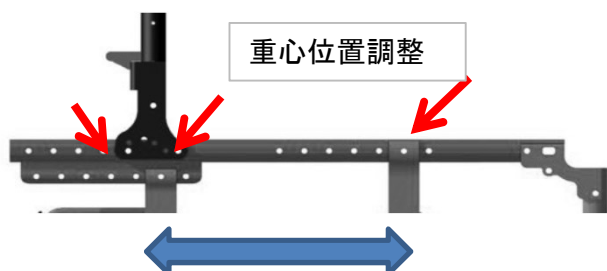
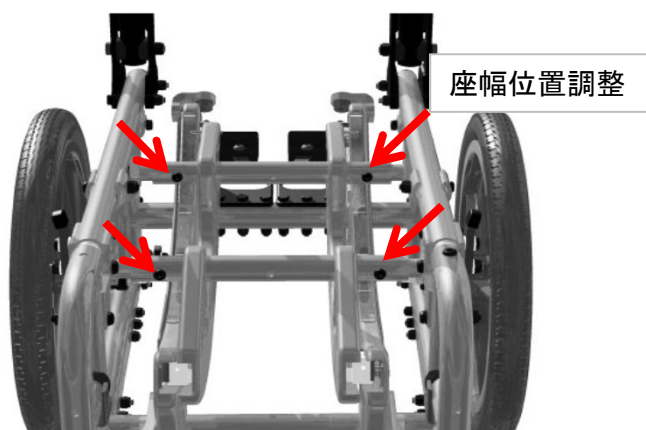


PRO CGには座奥長や座幅長、重心位置の調整機能が標準装備されております。

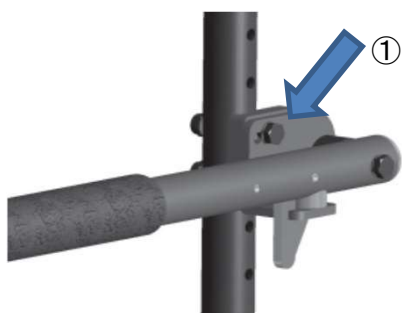
矢印のボルトナットを外し、位置を調整することで座奥長、座幅長、重心位置の調整ができます。

医療従事者のアドバイスのもと座奥長、座幅長を決めてください。

また、使用中に変更する際は、ご購入された販売店にご相談ください。



ー17. アームサポートの高さ調節

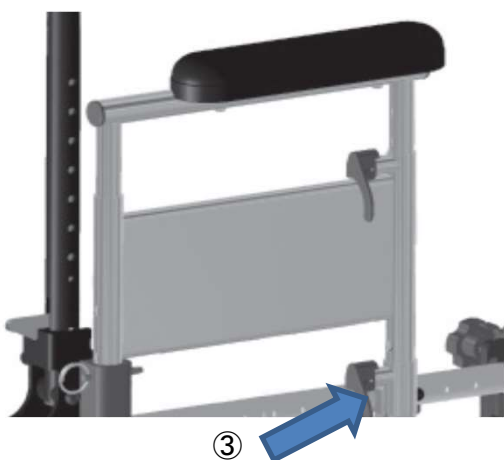


PRO CGのアームサポートには高さ調節機構がついてあります。

キャンチレバーアームサポートの高さを調節する際は、①のボルトナットを外し、アームレストをご希望の高さに調節してください。(バックサポートの穴位置を合わせる必要がありますので、ご注意ください)

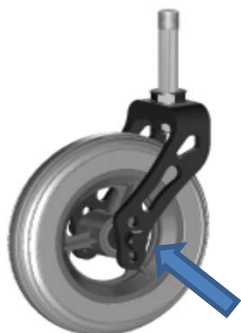


Tアームサポートの高さを調節する際は、②のレバーを倒し、アームパッドをご希望の高さに調節してください。②のレバーをもとに戻すと高さをロックすることができます。



デュアルポストアームサポートの高さ調節をする際は、③のレバーを倒し、アームパッドをご希望の高さに調節してください。③のレバーをもとに戻すと高さをロックすることができます。

ー18. キャスター交換



使用時の経年劣化等によって、前輪キャスター交換をすることがあります。

矢印のボルトナットを外すことで容易に交換することができます。

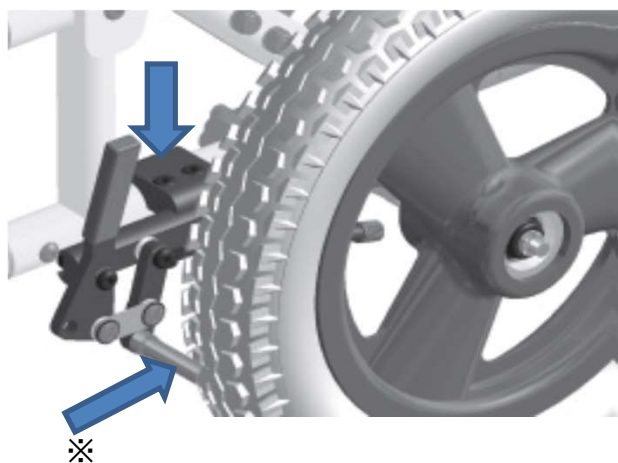
交換の際はご購入された販売店までご相談ください。



－19. 前輪キャスターの高さ調節

矢印のボルトナットを外すことで、キャスターフォークの高さ、角度の調整ができます。キャスターサイズの変更等、フォーク位置の調整をしてください。

交換の際はご購入された販売店までご相談ください。

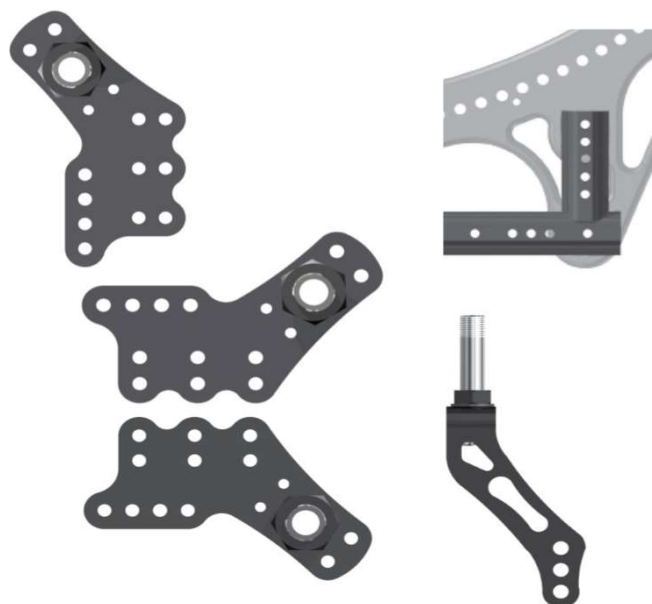


－20. 後輪タイヤの交換

後輪タイヤを交換する際は、押すブレーキ、引くブレーキの位置が合うかどうかもう一度ご確認ください。

ブレーキの位置を調整する際は矢印のボルトナット2本を緩め、ブレーキ機構をスライドさせて調整してください。

※のブレーキ部分をタイヤから一番遠ざけた状態で6mm程度離れた状態が最適な位置と言えます。



ー21. 車軸位置調整と座高調整について

PRO CGの車軸位置調整部品は位置を調整することによって車軸の位置と座高の調整することができます。

この車軸位置によって、PRO CG本体の重心や前座高が決まるのでとても重要な調整と言えます。

この調整には、アクスルプレートとキャストプレート、キャスト穴位置、アクスル穴位置の相互関係によって複雑に調整されます。

車いすの重心や前座高は利用される方の使用感や姿勢に大きな影響を及ぼすことがあります。PRP CGの重心や前座高を決める際は、医療従事者のアドバイスのもと、決定してください。また、使用中に変更される際は、ご購入された販売店にご相談ください。

車軸位置調整部品を前方に動かし、ホイールベースを短くすると走行時の回転性能があがりますが、転倒の危険性が増します。

車軸位置調整部品を後方に動かし、ホイールベースを長くすると安定性が増しますが、走行時の回転には負荷がかかります。



ー22. スイングアウェイアンチチッパーの高さ調整

PRO CGのオプションのスイングアウェイアンチチッパーには高さ調整機能がついています。

矢印のボルトナットを外し、アンチチッパー下部の高さを調整してください。

アンチチッパー上方の穴位置を見ながら、ご希望の高さに合わせ、ボルトナットを挿入し、しっかりと締め

6. メンテナンス・廃棄

－1. メンテナンス

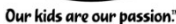
長くご使用いただくには、保守、点検、整備をこまめに行ってください。

- ・本体やパーツの可動部分に違和感がある場合、不具合、故障の可能性があるので、必ず点検し、問題があれば販売店にご連絡ください。
- ・ボルトやナット等が緩んでいないか、定期的を確認してください。
- ・ボルトやナット等がとれてなくなった場合は、そのまま使用しないで販売店にご連絡ください。
- ・フレームやパーツは常にきれいにしておいてください。

その他不調にお気づきの際は、販売店にご連絡ください。

－2. 廃棄

本製品の廃棄につきましては、市区町村の条例などの指示に従って処分をしてください。





Our kids are our passion.™ CE

SHOWA 昭和貿易株式会社
power your mission

東 京 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1丁目10番5号 6F
ヘルスケア営業部
TEL 03-5822-1385 FAX 03-5822-1396

大 阪 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1丁目18番27号
ヘルスケア営業部
TEL 06-6441-5612 FAX 06-6444-6006
(181020)